JAPAN PBSS
PHARMACEUTICAL & BIOSCIENCE SOCIETY



Japan PBSS　現地開催イベント
New Approach Methodologies
- 開発から活用、規制受容、そして事業化へ

ハイブリッド（対面／*Zoom*）： 無料

日時　：2026年12月05日（土）13:00～19:30
会場　：日本橋ライフサイエンスハブ LSH-E 会議室
（中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング 8階（COREDO室町3））
参加方法　：事前登録制
申込リンク　：https://www.pbss.org/eventDetails/1103

NAMsの概要＆製薬企業におけるNAMsの活用と考え方（毒性）



奈良岡 準 氏
日本製薬工業協会
コーディネーター兼NAMs専門チームリーダー

製薬企業におけるNAMsの活用と考え方（薬物動態）



後藤 昭彦 氏
武田薬品工業株式会社
DMPK & Modeling　ダイレクター

製薬ベンチャーにおけるiPS創薬の展開について（創薬・薬理）



福島 弘明 氏
株式会社ケイファーマ
代表取締役社長

規制当局におけるNAMsの評価と考え方



西村 次平 氏
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）
スペシャリスト（毒性担当）

主催：一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society (https://www.pbss.org/chapter/Japan)
Japan PBSS 問い合わせ窓口: info.japan@pbss.org

JAPAN PBSS
PHARMACEUTICAL & BIOSCIENCE SOCIETY



Japan PBSS　創薬エコシステムシリーズ Vol.2
Bench to Bell, and Beyond
-創薬スタートアップの資金調達：起業から上場、そしてその先の成長戦略-

ハイブリッド（対面／Zoom）： 無料

アカデミアにおけるNAMs研究と事業化



伊藤 弓弦 氏
筑波大学
教授

パネルディスカッション - 今後のNAMs活用のあり方

モデレーター： 伊藤　弓枝 氏（筑波大学）

登壇者： 本プログラムの講演者各氏
奈良岡 準 氏　（日本製薬工業協会）
後藤 昭彦 氏　（武田薬品工業株式会社）
福島 弘明 氏　（株式会社ケイファーマ）
西村 次平 氏　（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA））



舟越 俊介 氏　（京都大学iPS細胞研究所）

主催：一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society (https://www.pbss.org/chapter/Japan)
Japan PBSS 問い合わせ窓口: info.japan@pbss.org

JAPAN PBSS
PHARMACEUTICAL & BIOSCIENCE SOCIETY



Japan PBSS　現地開催イベント
New Approach Methodologies
- 開発から活用、規制受容、そして事業化へ

ハイブリッド（対面／*Zoom*）：　無料

プログラム

13:00～13:15　Japan PBSSおよび本会のテーマの紹介
上村 成章、朝倉 省二（Japan PBSS）

13:15～14:00　NAMsの概要＆製薬企業におけるNAMsの活用と考え方（毒性）
奈良岡 準（日本製薬工業協会）

14:00～14:30　製薬企業におけるNAMsの活用と考え方（薬物動態）
後藤　昭彦（武田薬品工業株式会社）

14:30～15:15　製薬ベンチャーにおけるiPS創薬の展開について（創薬・薬理）
福島 弘明（株式会社ケイファーマ）

15:15～15:30　Sponsor Presentation
スポンサー複数社

15:30～15:45　Coffee Break

15:45～16:00　Sponsor Presentation
スポンサー複数社

16:00～16:30　規制当局におけるNAMsの評価と考え方
西村 次平（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA））

16:30～17:00　アカデミアにおけるNAMs研究と事業化
伊藤 弓弦（筑波大学）

17:00～18:00　パネルディスカッション ―今後のNAMs活用のあり方
モデレーター：伊藤 弓弦（筑波大学）
パネリスト：上記登壇者、舟越 俊介（京都大学iPS細胞研究所）

18:00～18:10　クロージング
山本 憲幸（Japan PBSS）

18:10～19:30　Happy Hour & Networking

主催：一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society (https://www.pbss.org/chapter/Japan)
Japan PBSS 問い合わせ窓口: info.japan@pbss.org

JAPAN PBSS
PHARMACEUTICAL & BIOSCIENCE SOCIETY

Japan PBSS　現地開催イベント
New Approach Methodologies
- 開発から活用、規制受容、そして事業化へ



ハイブリッド（対面／*Zoom*）： 無料

スポンサー企業

AXCELEAD Drug Discovery Partners
BIOCYTOGEN
CHIYODA CORPORATION
CROWN BIOSCIENCE
cytiva
MOLSIS Molecular Simulation and Informatics Systems
SNBL
TEIJIN

Japan PBSSについて

Japan PBSSは、製薬・バイオサイエンス分野の専門家コミュニティとして、研究開発、薬事、データサイエンス、ビジネス開発など多様な領域の知識交流を推進しています。ウェビナーや勉強会を通じ、国内外の最新知見を共有し、産業発展に寄与することを目的としています。
公式HP　：https://www.pbss.org/chapter/Japan
公式note　：https://note.com/japan_pbss
公式SNS　：　LinkedIn

Japan PBSSの理念

【Mission】
知の流動化を通じて、創薬を推進する
【Vision】
日本の創薬を担う人々が世界で輝くために、知の流動を加速し、革新と成長を生み出すプラットフォームとなる
【Value】
Pay it forward：経験や知恵を、社会や次世代に還元し合う
Bridge Boundaries：日本国内の異なるステークホルダーや日本と海外のバイオテックエコシステムをつなぐ架け橋となる

主催：一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society
https://www.pbss.org/chapter/Japan

Japan PBSS 問い合わせ窓口: info.japan@pbss.org